

黒田アクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2017年3月27日現在

Monthly
Report

■ ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
設定日	2005年11月30日
決算日	毎年11月30日(休業日の場合は翌営業日)
信託期間	11年4ヵ月(2017年3月27日まで)
収益分配	毎期、決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

償還価額	16,022 円 86銭
(前月末比)	-33.14 円
純資産総額	4.8 億円
(前月末比)	-0.4 億円
設定来高値 [※]	16,655 円 (17/02/28)
設定来安値 [※]	4,008 円 (08/10/10)

※・・・課税前分配金込み基準価額

■ ファンドの特色・投資方針

1. ファンド名に運用責任者の黒田を冠します。
2. 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。
3. わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄へ幅広く投資することにより、絶対パフォーマンスを追求します。
4. 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
5. 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。

※運用はファミリーファンド方式で行い、当ファンドと実質的に同一の運用方針を有する黒田マザーファンドを主要投資対象とします。

■ パフォーマンス

基準価額と純資産の推移



期間騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.2%	4.4%	15.1%	18.4%	67.5%	66.2%

分配金

期	日	金額
第7期	(2012/11/30)	0 円
第8期	(2013/12/02)	0 円
第9期	(2014/12/01)	200 円
第10期	(2015/11/30)	200 円
第11期	(2016/11/30)	200 円
設定来		600 円

※基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を表示しております。尚、分配金込み基準価額は税引き前分配金を単純に合算したものであり、設定来高安値及び騰落率は分配金込み基準価額で表示、計算しております。期間騰落率は、分配金込み基準価額を用いて算出しております。

※3ページに当ファンドにかかるリスク及び費用を掲載しておりますので必ずご確認ください。

《当資料のお取扱におけるご注意》

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号
商品投資顧問業(農経(2)第19号)
〔加入協会〕 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
日本商品投資顧問業協会

■ ポートフォリオ

2017年3月27日償還日現在、有価証券等の組入れはございません。

■ コメント (1/2)

＜運用状況＞

3月の株式相場は、2日に日経平均株価が一時昨年来高値を付けて反落した後、米国株の最高値更新や円安進行を好感し、13日に昨年来高値を更新しました。その後、米連邦公開市場委員会(FOMC)で3カ月ぶりの利上げに踏み切ったものの、トランプ政権の政策への先行き不透明感から米国株が続落したことや米長期金利の低下、原油安、円高進行などで投資家心理が悪化し、月末は19,000円割れとなりました。

中小型株を含む新興市場においては、個人投資家中心に中小型株への物色が続き、中旬にかけて東証2部指数が最高値を更新、日経ジャスダック平均株価は1991年7月以来、東証マザーズ指数は7カ月半ぶりの高値を付けました。下旬にかけて東証1部の主力銘柄が軟調に推移するなか、直近の新規公開(IPO)銘柄も活発に売買され堅調な展開となりました。当ファンドの主要投資対象の当月の騰落率(前月末比)は、中小型株指数-1.4%、小型株指数-0.8%、東証2部指数+5.7%、日経ジャスダック平均+1.9%、東証マザーズ指数+1.1%となりました。

当ファンドは信託終了(繰上償還)することになりましたので、保有銘柄をすべて売却しました(2月末22.6%)。

*当ファンドは3月27日に信託終了いたしました。長い間(11年4カ月)にわたり、当ファンドをご支援いただくとともに、長らくのご愛顧につき、誠にありがたく深く御礼申し上げます。

なお、当月を最後にマンスリーレポートは終了させていただくことになりましたので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

運用責任者 黒田 毅

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券にマザーファンドを通じてまたは直接投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ① **株価変動リスク**…株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② **金利変動リスク**…金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ **信用リスク**…公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。
- ④ **流動性リスク**…有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ **他のベビーファンドの影響**
- ⑥ **投資信託に関する一般的なリスク**
- ⑦ **運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク**

■お客さまにご負担いただく費用について

◎直接ご負担いただく費用

申込時	・ 申込手数料	お申込価額 × 3.24% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率(注1) ※「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際にはお申込手数料はかかりません。 (注1)販売会社によって異なりますので、販売会社または委託会社にお問合せください。
換金時	・ 換金(解約)手数料	ありません。
	・ 信託財産留保額	換金(解約)申込受付日の基準価額に対し0.30%の率を乗じて得た額を控除します。

◎保有期間中に間接的にご負担いただく費用

保有時	・ 信託報酬	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率1.620% (税抜1.5%)。 (配分(各税込み):委託者0.7776%・販売会社0.756%・受託者0.0864%)
	・ その他の費用	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。) 有価証券売買時の売買委託手数料 等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

《投資信託に関する留意事項》

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・ 投資信託は預金ではありません。
- ・ 投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・ 投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・ 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。(証券会社・銀行は販売の窓口となります。)
- ・ 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- ・ 登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ 委託者、その他関係法人

委託者：TORANOTEC投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号

商品投資顧問業(農経(2)第19号)

〔加入協会〕一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本商品投資顧問業協会
(投資信託の設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)

受託者：三井住友信託銀行株式会社〔再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社〕

(投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)

販売会社：(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

《販売会社一覧》

(50音順、加入協会に○印)

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
立花証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第110号	○		○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○			
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号	○			
日の出証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第31号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第20号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○			

■ 当ファンドの照会先

TORANOTEC投信投資顧問株式会社

電話番号：03-6432-0782

営業時間：営業日の9時～17時

HPアドレス：<http://www.toranotecasset.com/>